

# 日本初!アジアジュニア陸上を開催! 未来のスター選手を皆で応援しよう!



清流の国ぎふ  
三ナモ通信

6月に開催される「第18回アジアジュニア陸上競技選手権大会」。最大45の国と地域から、予選等を経て選ばれた16歳から19歳までの選手が出場する、アジア最高峰の陸上競技大会です。過去には朝原宣治さんや末續慎吾さんなど、世界で活躍する選手が出場しており、まさにオリンピックへの登竜門ともいえる大会です。未来のトップアスリートの熱戦を、ぜひ会場でご覧ください。

## 第18回 アジアジュニア 陸上競技選手権大会



期間 / 6月7日(木)~10日(日)

場所 / 岐阜メモリアルセンター 長良川競技場

■問 / 県庁地域スポーツ課アジアジュニア陸上競技大会推進室 ☎058(272)8874

## 開催に向け高まる期待!大会を盛り上げるためのイベントを開催

開幕まで100日となった2月27日(火)、県庁前に設置したカウントダウンボードの除幕式を行いました。当日は、岐阜県出身の安藤友香選手(2017年世界陸上マラソン日本代表)が応援に駆けつけました。3月3日(土)には、スタートアップイベントを開催。冒頭に行われたセレモニーで古田肇知事は、本大会に向けて、「県を挙げて選手らをもてなし、スポーツ立県ぎふのレベルを上げる契機にしたい」と意気込みを語りました。



カウントダウンボード

### 大会アンバサダー朝原宣治さんへインタビュー



朝原 宣治さん

#### Q. 1990年アジアジュニア北京大会に出場した時の思い出は?

言葉や食事など、日本とは異なる環境の中で初めて試合に出場し、価値観が変わったのを覚えています。

#### Q. 出場する選手への期待は?

勝っても負けても良い経験になるので、思い切って自分の力を出し切ってもらいたいですね。

#### Q. 岐阜県出身の出場選手へメッセージをお願いします。

岐阜県出身の出場選手は地元の声援を力に、うまく気持ちを高めていってほしい。試合を楽しむのはもちろん、岐阜県の文化を知り国際交流を深める機会にしてほしいと思います。



スタートアップセレモニー

## 県民総参加で心のこもったおもてなしを

### ●みんなの応援で選手の背中を押そう!

大会に参加する選手団を応援するため、県民のみさんから集めた応援メッセージで、巨大なモザイクボードを制作します。原画は加納高校、岐阜総合学園高校の生徒がデザイン。原画にあわせて、応援メッセージを書いた木材パネル2400枚を組み合わせて完成した縦3m、横18mの応援モザイクボードは大会期間中、長良川競技場に設置します。みなさんもぜひ会場でご覧ください。



応援モザイクボード原画制作者へ感謝状贈呈

選手や観客からどう見えるか設置場所を確認したり、陸上部に取材したりしてデザインを検討。「前向きな気持ちで力を発揮してほしい」「選手からあふれるエネルギーを表現して、パワーを送りたい」という思いを込めました。

応援モザイクボード原画制作者の皆さん



制作されたモザイクボード原画(上・下)

### ●大会を支えるボランティアを募集中!

大会期間中に、選手や観客の誘導案内、競技運営をサポートするボランティアの方を対象に、おもてなしの心構えや文化の違いを学ぶ研修会を開催しています。ボランティアは現在も募集中。貴重な国際大会に、ボランティアとして携わってみませんか。



ボランティア研修会の様子